



市之瀬敏勝 Toshikatsu Ichinose

工学博士／名古屋工業大学名誉教授
名城大学教授

略歴

1955年2月4日生 67歳
1977年 名古屋工業大学卒業
1982年 東京大学大学院修了
1982年 名古屋工業大学助手
1988年 名古屋工業大学講師
1989年 名古屋工業大学助教授
1996年 名古屋工業大学教授
2020年 名古屋工業大学名誉教授
2020年 名城大学理工学部建築学科教授

学会歴

◎役員歴

副会長：2019年6月～2021年5月
理事／事業：2008年6月～2010年5月
支部長：2015年6月～2017年5月
代議員：2009年4月～2011年3月
常議員：東海支部
2000年1月～2001年12月

◎学会賞

論文：1998年「鉄筋コンクリート部材の強度・変形モデル」

◎教育賞

教育貢献：2007年「構造力学入門ソフトウェアの開発とこれを活用した教科書の出版」

◎奨励賞

論文：1990年「鉄筋コンクリート梁柱部材のせん断設計法」



近江隆 Takashi Omi

工学博士／東北大学名誉教授

略歴

1943年2月5日生 79歳
1966年 東北大学工学部建築学科卒業
1971年 東北大学工学部助手
1974年 東北大学大学院工学研究科博士課程修了
1984年 東北大学工学部助教授
1995年 東北大学工学部教授
1997年 東北大学大学院工学研究科教授
2005年 東北大学大学院工学研究科技術部長
2006年 東北大学名誉教授

学会歴

◎役員歴

支部長：2004年6月～2006年5月
評議員：1990年4月～1990年10月
1998年11月～1999年10月
代議員：1999年11月～2001年3月
常議員：東北支部
1987年1月～1988年12月

◎学会賞

論文：1996年「建物の区分所有の成立形態とその影響に関する一連の研究」

名誉会員は、本会の定款第15条に「この会の目的達成に多大の貢献をした者、または建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達に功績顕著な者は、総会の議決を経て名誉会員の称号をおくることができる」と定められています。

本年が推挙の年にあたりますので、定款の主旨に基づき、広い視野から慎重に選考を重ね、下記11名の先生方を2022年3月22日開催の臨時総会に推挙申し上げ、承認されました。

[2022年3月22日（年齢は2022年5月末日現在）]



香山壽夫 Hisao Kohyama

工学博士／東京大学名誉教授
香山建築研究所会長

略歴

1937年3月1日生 85歳
1960年 東京大学工学部建築学科卒業
1965年 ペンシルヴェニア大学美術学部大学院修了 (M.Arch.)
1968年 九州芸術工科大学助教授
1971年 東京大学工学部助教授
1976年 イェール大学美術学部客員研究員
1982年 ペンシルヴェニア大学客員教授
1986年 東京大学工学部教授
1995年 第八回村野藤吾建築賞受賞
1996年 アメリカ建築家協会 名誉会員 (FAIA)
1997年 東京大学名誉教授、明治大学理工学部教授
2002年 放送大学教授
2006年 平成十八年度 日本芸術院賞受賞
2008年 聖学院大学特任教授
2017年 京都市文化功労者

学会歴

◎役員歴

理事／事業：1991年1月～1992年12月
評議員：1987年11月～1989年10月

◎大賞

2021年「建築形態論を基盤とする建築意匠研究の確立と建築設計教育・創作を通じた建築文化への貢献」

◎学会賞

作品：1996年「彩の国さいたま芸術劇場」

◎作品選奨

1996年「関川村歴史資料館」
2002年「東京大学弥生講堂 一条ホール・附属資料館」
2011年「熊野本宮館」



杉本俊多 Toshimasa Sugimoto

工学博士／広島大学名誉教授

略歴

1950年1月26日生 72歳
1972年 東京大学工学部建築学科卒業
1974年 東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程修士課程修了
1975年～1977年 ドイツ学術交流会 (DAAD) 奨学生
カールスルーエ大学 (西独)、ベルリン工科大学 (西独) に研究留学
1979年 東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程博士課程修了
1979年 広島大学工学部第四類 (建設系) 助手
1979年 広島大学工学部第四類 (建設系) 助教授
1997年 広島大学工学部第四類 (建設系) 教授
2013年～2015年 広島大学大学院工学研究院院長・工学研究科長・工学部長
2015年 広島大学名誉教授

学会歴

◎役員歴

支部長：2009年6月～2011年5月
代議員：1999年11月～2002年3月
常議員：中国支部
2002年6月～2010年5月

◎委員歴

建築歴史・意匠委員会委員長：2013年4月～2015年3月

◎学会賞

論文：1999年「ドイツ新古典主義建築」



竹下輝和 Terukazu Takeshita

工学博士／九州大学名誉教授
TMD研究所所長

略歴

1949年12月7日生 72歳
1972年 九州大学工学部建築学科卒業
1977年 九州大学大学院工学研究科建築学専攻修了
1990年 九州大学教授
2014年 九州大学名誉教授

学会歴

◎役員歴

監事：2008年6月～2010年5月
理事／学術：2001年6月～2003年5月
支部長：2005年6月～2007年5月
評議員：1991年11月～1993年10月
常議員：九州支部
1987年1月～1988年12月

◎学会賞

論文：2005年「生活の時系変化と状態変化からみた一連の建築計画学的研究」

◎奨励賞

論文：1989年「保育所乳児部における保育室の空間構成に関する実験的使われ方研究 1、2才児のクラス集団規模が幼児の集中度および保育の疲れ度に及ぼす影響について 2、1才児のクラス集団構成が転換期の保育の流れおよび保育の疲れ度に及ぼす影響について」

◎作品選奨

1997年「脊振・人形の家」



竹脇出 Izuru Takewaki

工学博士 / 京都大学教授

略歴

1957年9月11日生 64歳
 1980年 京都大学工学部建築学科卒業
 1982年 京都大学工学研究科修士課程修了
 1982年 京都大学助手
 1996年 京都大学助教授
 2003年 京都大学教授
 1989年～1990年
 カリフォルニア大学バークレー校
 客員研究員
 2005年 カリフォルニア大学サンディエゴ校
 客員教授
 2009年 2008年高層建築に関する国際専
 門誌Paper of the Year
 2015年 Frontiers in Built Environment
 (スイス) 編集長
 2018年 世界経済フォーラム専門委員
 2020年 日本学術会議連携会員

学会歴

◎役員歴

会 長：2019年6月～2021年5月
 副会長：2013年6月～2015年5月
 監 事：2010年6月～2012年5月
 理事／学術：2007年6月～2009年5月
 代議員：2001年4月～2003年3月
 2012年4月～2014年3月
 2018年4月～2020年3月
 常議員：近畿支部
 1999年1月～2001年3月

◎学会賞

論文：2004年「建築構造物の混合逆問
題型設計法」

◎奨励賞

論文：1990年「Earthquake-response
Constrained Design of Pile-supported
Elastic Shear Buildings for Site-
dependent Response Spectra」

◎著作賞

2014年『Improving the Earthquake
Resilience of Buildings』



長谷見雄二 Yuji Hasemi

工学博士 / 早稲田大学名誉教授

略歴

1951年3月18日生 71歳
 1973年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
 1975年 早稲田大学大学院理工学研究科
 修士課程修了
 1975年 建設省建築研究所研究員
 1983年～1984年
 米国商務省国立標準技術研究所
 客員研究員
 1987年 建設省建築研究所第五研究部防
 火研究室長
 1988年 国際火災安全科学学会
 P.H. Thomas メダル
 1997年 早稲田大学理工学部建築学科教授
 1999年 国際火災安全科学学会
 H.W. Emmons 賞
 2004年～東京理科大学火災科学研究所客
 員教授
 2005年～2006年
 東京工業大学フロンティア材料研
 究所客員教授
 2017年 国際火災安全科学学会
 D.D. Drysdale 賞
 2021年 早稲田大学名誉教授

学会歴

◎役員歴

副会長：2011年6月～2013年5月
 理事／事業：2005年6月～2007年5月
 支部長：2014年6月～2016年5月
 評議員：1998年11月～1999年10月
 代議員：1999年11月～2001年3月
 2004年4月～2006年3月
 2008年4月～2010年3月
 2011年4月～2013年3月
 2017年4月～2019年3月

◎委員歴

防火委員会委員長：
2000年4月～2004年3月

◎学会賞

論文：1987年「区画火災の数学的モデ
ルとフラッシュオーバーの物理的機構に関
する研究」



布野修司 Shuji Funo

工学博士 / 滋賀県立大学名誉教授

略歴

1949年8月10日生 72歳
 1972年 東京大学工学部建築学科卒業
 1976年 東京大学院博士課程中退、同大
 学工学部助手
 1978年 東洋大学工学部講師
 1984年 東洋大学助教授
 1991年 京都大学工学部建築学科助教授
 2005年～2015年
 滋賀県立大学環境科学部教授・
 副学長（理事）
 2006年 日本都市計画学会論文賞「近代
 世界システムと植民都市」
 2015年～2020年
 日本大学生産工学部特任教授
 2020年～日本大学生産工学部客員教授

学会歴

◎役員歴

副会長：2011年6月～2013年5月
 理事／図書：2001年6月～2003年5月
 評議員：1997年11月～1999年10月
 常議員：近畿支部
 1996年1月～1997年12月

◎委員歴

建築計画委員会委員長：
2006年4月～2010年3月

◎学会賞

論文：1991年「インドネシアにおける居住
環境の変容とその整備手法に関する研究」

◎著作賞

2013年『韓国近代都市景観の形成－日
 本人移住漁村と鉄道町』
 2015年『グリッド都市－スペイン植民都
 市の起源、形成、変容、転生』



銚井修一 Shuichi Hokoi

工学博士／京都大学名誉教授

略歴

- 1951年3月3日生 71歳
- 1973年 京都大学工学部建築学科卒業
- 1975年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1977年 京都大学工学部建築学科助手
- 1981年 神戸大学工学部環境計画学科助手
- 1992年 京都大学工学部建築学教室助教授
- 1995年 京都大学工学部建築学科教授
- 1996年 京都大学大学院工学研究科生活空間学専攻教授
- 2003年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授
- 2016年～2019年 京都大学産官学連携本部特任教授
- 2017年 中国・東南大学建築学院教授

学会歴

◎役員歴

- 理事／総務：1999年1月～2001年5月
- 代議員：2006年4月～2008年3月
- 評議員：1994年11月～1996年10月
- 常議員：近畿支部
1993年1月～1994年12月

◎委員歴

- 環境工学委員会委員長：
2003年4月～2005年3月

◎学会賞

- 論文：1997年「外界気象の確率的変動を考慮した建築熱環境設計に関する研究」

◎奨励賞

- 論文：1989年「An Analysis of Stochastic Properties of the Heating Load in an Intermittently Air-conditioned Building」



緑川光正 Mitsumasa Midorikawa

工学博士／北海道大学名誉教授

略歴

- 1950年11月3日生 71歳
- 1973年 東京工業大学工学部建築学科卒業
- 1979年 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程修了
- 1979年 東京工業大学工学部助手
- 1980年 建設省建築研究所第三研究部構造研究室研究員
- 1989年 建設省建築研究所国際地震工学部第二耐震工学室長
- 1994年 建設省建築研究所第三研究部構造研究室長
- 1999年 建設省建築研究所国際地震工学部長
- 2002年 独立行政法人建築研究所研究専門役
- 2005年 北海道大学大学院工学研究科教授
- 2016年 一般財団法人日本建築総合試験所常務理事
- 2017年 国立研究開発法人建築研究所理事

学会歴

◎役員歴

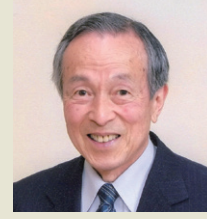
- 副会長：2015年6月～2017年5月
- 監事：2011年6月～2013年5月
- 理事／学術：2009年6月～2011年5月
- 代議員：2001年4月～2003年3月
2008年4月～2010年3月
- 常議員：関東支部
1997年1月～1998年12月

◎委員歴

- 構造委員会委員長：
2013年4月～2017年3月

◎学会賞

- 論文：2012年「鋼構造建物の安全性・機能性向上をめざした地震応答低減機構・システムの開発と検証に関する一連の研究」



安岡正人 Masahito Yasuoka

工学博士／東京大学名誉教授

略歴

- 1936年1月2日生 86歳
- 1959年 東京大学工学部建築学科卒業
- 1964年 東洋大学工学部建築学科助教授
- 1980年 東洋大学工学部建築学科教授
- 1981年 東京大学工学部建築学科教授
- 1996年 東京大学名誉教授
- 1996年 東京理科大学工学部建築学科教授

学会歴

◎役員歴

- 理事／学術：1988年1月～1989年12月
- 評議員：1987年11月～1989年10月

◎委員歴

- 環境工学委員会委員長：
1984年4月～1986年3月
- 文教施設委員会委員長：
2006年4月～2010年3月

◎大賞

- 2021年「音環境の設計手法の体系化、および建築学の分野横断的議論の場の創生に関する一連の功績」